

国語「言語文化」単元の評価規準

内容のまとめ		単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(1) 言葉の特徴や使い方に 関する事項 (2) 情報の扱い方に 関する事項 (3) 我が国の言語文化に 関する事項	A 「書くこと」	○伝統と文化(「祭り」をテーマに随筆を書く)	○常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。((1)イ) ○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。((1)エ)	○「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア) ○「書くこと」において、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、文章の種類、構成、展開や、文体、描写、語句などの表現の仕方を工夫している。(A(1)イ)	○指定されたテーマについて散文(随筆等)を書くことを通して、自分の体験や思いが効果的に伝わるよう、粘り強く表現の仕方等を工夫しようとしている。
		○短歌と俳句(折句を用いて短歌を作る) ○和歌と俳諧(古典の和歌を現代の言葉で書き換える)	○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ○本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。((1)オ)	○「書くこと」において、自分の知識や体験の中から適切な題材を決め、集めた材料のよさや味わいを吟味して、表現したいことを明確にしている。(A(1)ア) ○「書くこと」において、本歌取りや折句を用いて、感じたことや発見したことを短歌や俳句で表したり、伝統行事や風物詩などの文化に関する題材を選んで随筆などを書いたりする。(A(2)ア)	○伝えたい内容に則して素材を集め、その素材を活用して、内容が読み手に効果的に伝わるよう工夫しようとしている。
	B 「読むこと」	○古文入門 ○古文に親しむ ○漢文入門 ○故事成語 ○漢詩の鑑賞	○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。((1)ア) ○古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。((2)ウ) ○時間の経過や地域の文化的特徴などによる文字や言葉の変化について理解を深め、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解している((2)エ)	○「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。(B(1)イ) ○「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(B(1)オ) ○異なる時代に成立した随筆や小説、物語などを読み比べ、それらを比較して論じたり批評したりすることができる。(B(2)ウ)	○古典を読むのに必要な知識を進んで身につけ、日本の伝統的な言語文化への理解を深めたり、中国など外国の文化との関係について理解を深めたりしようとしている。
		○伝統と文化	○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。((1)ア) ○古典の世界に親しむために、作品や文章の歴史的・文化的背景などを理解している。((2)ウ)	○「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。(B(1)ア) ○「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(B(1)オ)	○我が国の伝統や文化について書かれた解説や評論、随筆などを読み、我が国の言語文化について自分の考えを持つようとしている。
		○小説を読む (一)(二)(三)	○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。((1)ア) ○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ○文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。((1)エ)	○「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。(B(1)エ) ○「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(B(1)オ)	○作品に描かれた人間関係等について話し合うことを通して、進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもとうとしている。
		○詩の楽しみ ○短歌と俳句	○言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。((1)ア) ○我が国の言語文化に特徴的な語句の量を増し、それらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。((1)ウ) ○本歌取りや見立てなどの我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解している。((1)オ)	○「読むこと」において、作品や文章の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえ、内容の解釈を深めている。(B(1)エ) ○「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。(B(1)オ) ○和歌や俳句などを読み、書き換えたり外国語の訳したりすることなどを通して互いの解釈の違いについて話し合うことができる。(B(2)エ)	○詩歌の内容や形式、表現の技法について理解し、思考力や想像力を発揮して解釈を試みようとしている。